

(様式第7号)

大阪府高校生留学支援金留学報告書

年 月 日

学 校 名		支 援 金 交 付 年 度	年 度
氏 名			
留 学 期 間	平成 26年 / 月 27日 ~ 27年 / 月 14日		
留 学 先	国 名	学校名	
	カナダ	Glace Bay high school	
専 攻			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

最初に着いた時、友達もいない、食文化も違う、言語もわからない、すべての環境が違うカナダを受け入れる事ができませんでした。相手が何を言っているのか、何をもとめているかが分からず、たとえ分かったとしても応答ができませんでした。

学校でも、少しは友達ができましたが、何かを共有できる友達にまではいけません。毎日起るたびに、現実に戻ったように引き戻される感覚でした。2カ月後ごろから、リスニング力が上がって、何が言いたいのを聞きとれるようになってきていました。

私はホストファミリーとするごとなかが良くて、よくドライブなどに介っていい思い出がありました。本当になかが良かったので、いつも笑ってジョークを言い合ったり、たわいのない世間話をしていました。

ホストマザーとは、夜いつもドラマや映画を見て笑ったりそのことについて話し合ったりしていました。これも留学においてとても大切な事の1つだと思います。また、ホストファミリーとのコミュニケーションで友達とのコミュニケーションもうまくいくと思うからです。

現実的に、留学生でホストファミリーと合わない人もいます。その時は、たぶん、コーディネーターに相談する事も一つの手段だと思います。9月からの新しいセメスターで、新しいたくさんの友達ができました。

日本で留学生が来たら、日本人のみんなばかりじゃって、留学生の事をたくさん知ろうと思うはあです。でもカナダでは自分から話しかけないともらって友達にはなれません。話しかけてもうまく会話が合わなかったり、続かなかったりする事も何度もありました。そのたびに、自分の未熟さを感じていました。日本の友達、両親に会いたくなる時もたくさんありました。

9月になり、英語の成長以外に、7つ分かった事がありました。カナダ人と友達になる上で、留学生の私達が「カナダ人は留学生を『特別』に見てる」と思い過ぎないように。でもどうした偏見がさらにカナダ人と友達

になることをこぼしていたのだ」ということです。かといってカナダ人は意外と私達をぶつうに見ていてくれて、留学生として仲良くしてくれるのではなく人として、一人の仲間として私達を受け入れてくれていたという事も感じました。それを理解できた事~~毎~~時点^毎で、一歩成長できたと思えました。

9.10日頃には、英語の応答もスムーズにできていました。

17. 私が留学の最初から最後まで私が続けていた事があります。それは日記です。カナダについての時の心境、環境を日記に書いた所からはじまり、日本に帰るまでを書きました。文章をつける事で頭の整理ができて、文章力も上がると思ったからです。

たまた、振り返ってみると、最初のとても未熟な英語力を語る文章だったり、誤字を見つけたり、日を重ねていくたび、英語の文章がのびている事を感じる事ができました。そういう意味では、日記を書くことはいいと思います。

カナダには、2つの大きな行事がありました。ハロウィンとクリスマスです。ハロウィンで学校のおんながコスチュームを着て、パーティーをしたり、家でテレビジョンしたり、おかしをもらいに家を回ったりするおんなたり、日本ではあじわった事のない、とても楽しいハロウィンでした。

クリスマスの一か月前から、ホストファミリー、友達、みんながワクワクしていました。クリスマスプレゼントをたくさん買って、当日みんなを交換して、いろいろなプレゼントがもらえて、日本でこういう文化がないのは不思議だと思えました。ほとんど毎日、たくさんホストと話し、夜は、英語の単語を覚えたりしていました。日本にかえっても、リスニング力を持ち続ける為に、ラジオを聞いて、ホストファミリーと電話したりして~~聞~~ています。リスニングのテストなどで英語を聞き、分かるので、うれしくおもいます。

お父さんがあこがれで尊敬していた、彼の母校 UCLA に、大学で一年留学するのが夢です。自分がカナダに行った時、とても大変でした。日本で英語の勉強をしていたけれどそれは筆記だけで、実用的なものではありませんでした。そして、その教育について、学びたいと思います。

将来、日本人は英語ができると言われる日本にしたいです。

上記の内容については、公表される場合があることを了承します。

(申請者が☑してください。)